

目指せ頂点 八学光星

第105回全国高校野球選手権大会が6日、兵庫県西宮市の阪神甲子園球場で開幕する。地方大会を突破した49校が全国の頂点を狙って激突する。本県代表は八戸学院光星高校(八戸市)。2年連続、通算12回目の出場。初戦は大会7日の第1試合(12日午前8時開始)に秋田県代表・ノーアスピア大館校と対決。ナインは県勢初の全国制覇を目指し闘志を燃やす。

夏の甲子園高校野球 きょう開幕



2年連続で青森大会優勝を決め、笑顔で記念撮影する八学光星の選手たち＝7月27日、弘前市のはるか夢球場

背番号	守備	氏名	学年
1	投手	比呂斗	2
2	捕手	藤原	3
3	一塁	新田	3
4	二塁	西尾	3
5	三塁	池田	3
6	遊撃	中澤	3
7	左中	青砂	3
8	右中	砂子	3
9	中外	長谷	3
10	投手	岡本	3
11	投手	越智	3
12	投手	照井	3
13	投手	齋藤	3
14	投手	齋藤	3
15	投手	増田	3
16	投手	中澤	3
17	投手	川島	3
18	投手	辻	3
19	投手	畑	3
20	投手	畑	3

責任教師・小坂 貴志
監督・仲井 宗基
※背番号の○は主将

12日、明桜(秋田)と初戦



シートノックで守備に磨きをかける八学光星の選手たち＝7月29日、八戸市美保野の同校グラウンド

春の東北大会では、昨夏と成長を証する。夏の青森大会は、3戦目の甲子園覇者・仙台育英を下して王者となった八学光星。青森大会では伝統の強打に加え、投手も制する上がって青森山田だつた。先鋒の洗平比呂が強力打撃を流石に5-0で力打撃を沈黙させた。決勝は2年連続で八工大に対決。1点が重い展開で、勝利を飾った。

入りを果たして強さを見つけた。11年夏に春・同夏は甲子園史上初となる3期連続の準優勝。優勝を狙える強豪校の一つと期待される。夏の甲子園出場は、年連続で決めた後もナインの士気は高い。仲井宗基監督は「東北の高校野球」も全国レベルになったことを自慢し、正々堂々と戦い抜く」と、洗平比呂と岡本琉葉の2年生ダブルエースを支える捕手藤原天斗(2人)の持主味を速球を生かせるようリードしたい」と力強く語る。

春夏22回出場 県随一の戦歴

八戸学院光星高校は、前身の光星学院時代を含めると甲子園には春夏通算22回(春10回、夏12回)出場と、県内随一の戦歴を誇る。また、数多くのプロ野球選手を輩出しており、2000年度卒まで長く巨人の主力を務めた。

八学光星の甲子園最終戦績	
1997年春	1回戦 岡山南(岡山)
同夏	1回戦 佐賀商(佐賀)
98年春	2回戦 豊田西(愛知)
2000年夏	ベスト4 智弁和歌山(和歌山)
01年夏	ベスト8 近江(滋賀)
03年夏	ベスト8 東北(宮城)
06年春	1回戦 関西(岡山)
09年春	1回戦 今治西(愛媛)
11年春	2回戦 智弁和歌山
同夏	準優勝 日大三(西東京)
12年春	準優勝 大阪桐蔭(大阪)
同夏	準優勝 大阪桐蔭
14年春	2回戦 龍谷大平安(京都)
同夏	ベスト8 教員気比(福井)
15年春	2回戦 大阪桐蔭
16年春	2回戦 龍谷大平安
同夏	2回戦 東邦(愛知)
18年夏	2回戦 龍谷大平安
19年春	1回戦 広陵(広島)
同夏	ベスト8 明石商(兵庫)
22年夏	2回戦 愛工大名電(愛知)

4年ぶりに解禁された面出し応援を力に変え、今夏こそ悲願の初優勝を果たす。八学光星の目標は、本県に深紅の大優勝旗を持ち帰ることだけだ。

企画・制作 東奥日報社広告局

第105回全国高等学校野球選手権記念青森大会において、本校は春季大会決勝での悔しさをほろ返すべく、そして東北大会優勝に慢心することなく試合に臨み、強豪校や伝統校との激戦を制して年連続12回目の夏の甲子園出場を果たしました。これもひとえに、地域の皆さまや外郭団体をはじめ、県内外の



一戦必勝で栄冠つかむ

八戸学院光星高等学校校長 中村 良寛

多くの方々からの温かいご声援や力強いご支援のたまものと存じ、心からお礼申し上げます。今年から再出し応援も解禁となったため、スタンドの生徒たちもパワー全開で選手たちと共に戦うことができました。目前に迫った甲子園大会は、本校チームを支えてくださる全ての方々の夢を携え、「一戦必勝」を心に刻んで光星旋風を巻き起こしてほしいと願っています。応援して下さる皆さま方からの期待に応えられるよう、ひたむきで頑張ります。全国制覇に挑みます。

生徒から熱いエール!

佐々木凜さん(3年、生徒会長) 青森大会の初戦から決勝戦までには苦しい場面もありましたが、硬式野球部の皆さんはそんな時も笑顔で乗り越えて甲子園出場を果たし、とても誇らしく思っています。甲子園では、青森県勢初の優勝を祈っています。

吉田光さん(3年、吹奏楽部長) 2年連続の甲子園出場ということで、私たち吹奏楽部も気が入っています。野球部の皆さんがより力を発揮できるように、私たちの武器である音楽でエールを届けたいと思います。最高のプレーを期待しています。

久保田葉月さん(3年、チアリーディング部長) 2年連続で甲子園球場で応援でき、うれしく思います。昨年は2回戦敗退でしたが、野球部の皆さんには全国制覇を目指して頑張ってください。私たちは少しでも選手の力になれるよう、全力応援で頑張ります。